

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。  
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

## 将棋のまち大田原

大田原市では「将棋のまちづくり」を推進しています。プロの棋士同士が対局する王将戦、小・中学校将棋大会、将棋のつどい、将棋教室等、将棋に関する行事を多数開催しており、子どもから大人まで幅広い世代の方が将棋を楽しんでいます。

今後、大田原市内で行う将棋イベントは以下のとおりです。プロの棋士に指導していただける機会もありますので、ぜひご参加ください。

<これからの大田原市内将棋イベント>

○ふれあいの丘将棋大会

日 時：平成27年1月25日(日)午前8:30～

会 場：ふれあいの丘

問合せ：ふれあいの丘 0287-28-3131

○第64期王将戦

日 時：平成27年1月29日(木)・30日(金)

(予定)

会 場：ホテル花月

問合せ：大田原市文化振興課 0287-98-3768

○将棋のつどい

日 時：平成27年2月21日(土)午前10:00～

会 場：トコトコ大田原

問合せ：大田原市中央公民館 0287-23-2005



毎月第3日曜日は「家庭の日」

## 第4回和い輪い学習フォーラム & 那須町PTA連絡協議会講演会

今年で4回目の開催を迎える和い輪い学習フォーラムは、那須町PTA連絡協議会との共催で、「親子の絆を深めよう」をテーマに実施しました。

オープニングセレモニーでは、那須町に残る伝統芸能を広く紹介しようと、伊王野付け祭り囃子保存会が祭り囃子の演奏を行いました。大人だけでなく、子どもたちの力強く見事な演奏により、会場が盛り上がりました。

その後、「これだけは親として伝えたい」と題した、落語家の三代目林家染二氏による講演会を行いました。パワフルでありながらも面白く、また、心温まるお話は、参加者にとって親子の絆を見つめ直すきっかけになったものと思います。

講演後は、落語を披露していただき、会場は笑いの渦に包まれました。

「和い輪い」のとおり、会場が一体となったフォーラムになりました。



祭り囃子保存会による演奏



林家染二氏による落語

## 第9回那須塩原ハーフマラソン

11月3日(月・祝)の秋晴れの下、くろいそ運動場を主会場に第9回那須塩原ハーフマラソンが開催されました。

会場では黒磯巻狩太鼓の演奏があり、更に大会が盛り上がりました。

ゲストランナーには、2007年の都道府県対抗女子駅伝で29人のごぼう抜きを記録した、現在はランニングアドバイザーやイベント出演等で幅広く活躍されている湯田友美さんを迎え、ハーフ・5km・3km・2km・1kmの5コースで2500人を超えるランナーが気持ちのよい汗を流しました。

選手たちは走り終えた後に、例年好評を得ている無料のなめこ汁や地元産の牛乳で疲れた体を癒やしていました。また、ハーフの部で優勝した男女各1名には、『洞爺湖マラソン』への招待券が送られました。



## 家庭・地域いじめ対策教育支援事業「地域アクションミーティング」の開催

栃木県教育委員会では、昨年度から家庭・地域いじめ対策教育支援事業を行っております。

子どもたちをめぐる喫緊の課題であるいじめ問題を解決するためには、学校と家庭が連携し、いじめを早期に発見するだけでなく、予防的取組として、いじめを許さない環境づくりや子どもの自尊感情を高め、善悪の判断や他人を思いやる心を身に付けさせるなど、社会全体で心の教育の充実を図っていくことが重要であると考えています。

昨年度は、全県的ないじめ防止の気運を盛り上げるため、「いじめ防止県民大会」を実施し、家庭・地域における取組の重要性を発信しました。

今年度は、いじめ問題の解決に向けた家庭・地域での具体的な行動を促せるように、各地区ごとにいじめのない環境づくりについて考える「地域アクションミーティング」を実施しました。

那須地区では、学校・家庭・地域のパイプ役として活躍していただいている家庭教育オピニオンリーダーの皆さんにいじめのない環境づくりについて、御協議いただきました。

地域ぐるみでいじめを見逃さない環境をつくっていくことが大切であることやいじめ防止に向けた具体的な行動を再確認することができました。

